

枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和5年6月20日（火） 午後7時40分～午後8時55分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約30名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、
教育政策課長、上下水道総務室総務課長、市立ひらかた病院総務課長、
書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「2023年予算・人員要求書」に基づく交渉（2回目）

<交渉内容要旨>

I. 次年度の職員採用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の第1回目の交渉を踏まえ、今交渉で示せるものはあるか。 ・ 年齢要件については、どのように考えているか。 ・ 75人程度の採用ということであるが、組合員のアンケートでも「人員不足である」が約9割という結果である。人員不足がメンタル不調にも繋がる。補欠人員を含め、予定を上回る採用を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採用試験については、7月中から一次試験を実施し、採用規模については、75人程度と考えている。 また、主な募集職種は、事務職は大学卒、一般卒、資格卒として、IT、福祉、司書など、そして、障害者雇用率3.0%を安定的に上回ることができるよう障害者枠を設ける。技術職は、土木職、建築職、機械職、化学職において短大等卒、大学卒、資格・経験卒の区分を設けたい。専門職は、保育士のほか保健師、臨床心理士、管理栄養士といった職種を予定している。現業職は、職のあり方や各職場における見直しの取り組みを踏まえると、大変厳しい状況だが、調理員の区分を設けたい。 ・ 年齢要件については、昨年度と同様と考えている。 ・ これまでの経過を踏まえて、最後まで検討を重ねたい。

II. 人員体制・配置について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士や調理員については検討しているということであるが、行政として市民の生活・命を 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの経過を踏まえて、最後まで検討を重ねたい。

<p>守るためにもセラピー職や看護師などの職についても採用を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場では恒常的に人員が不足しており、正職員の負担が増加している。産育休の代替については、正職員の配置が必要である。 また、会計年度任用職員を募集しても集まらない。人材を確保するためには、処遇の改善が必要であると考えようか。 ・ 職員アンケートで、人員不足による超勤の発生やサービス残業が実態としてあるという結果であった。職場環境の改善が必要であり、人員不足を解消すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職場の声や実態を見極め、必要とする部署に適切にフォローできる人員配置に努めていく。 また、非正規職員の課題は賃金交渉に向けて協議を重ねていきたい。 ・ 時間外勤務については、事前申請の徹底など、各所属における労務管理の徹底に努めていく。
--	--